【タイトル】

令和6年度 ブロック別市町村民生委員・児童委員協議会会長連絡会議 開催報告

【リード文】

埼玉県内の市町村民生委員・児童委員協議会相互の連絡提携を図り、民児協活動ならびに運営上の諸課題について研究協議を深めることを目的とした「令和6年度 ブロック別市町村民生委員・児童委員協議会会長連絡会議」が、開催当番市の市長による歓迎のあいさつで幕を開け、開催されました。本記事では、会議のテーマ「一斉改選で、欠員をなくすために」に関する議論を中心に、各ブロックでの開催概要を紹介します。

【協議内容まとめ】

**会議で話し合われた3つのテーマと主な意見**

**1. 推薦機関の問題**

* 地域の実情把握
* 次期候補者への説明責任
* 相談対応の体制整備
* 次期候補者との信頼関係構築

**2. 民生委員活動のマイナスイメージ解消**

* やりがい・魅力の発信
* 「大変だ」という誤解・偏見の解消
* 地域に必要な役割の周知
* 活動内容の明示

**3. 次期民生委員候補者が抱える課題**

* 活動内容の説明
* 参加しやすい環境整備
* 相談しやすい雰囲気づくり
* 不安軽減

【あとがき】

令和7年一斉改選での担い手確保に向けた会長連絡会議では、活発な意見交換が行われました。推薦機関の問題、民生委員活動のマイナスイメージ、次期民生委員候補者が抱える課題、それぞれのテーマについて、各市町村の会長から貴重なご意見をいただきました。

会議では、それぞれの市町村における課題や現状、そして工夫を凝らした取り組みなどが共有され、参加者同士が熱心に耳を傾ける姿が印象的でした。テーマ以外にも、活発な意見交換が行われ、様々な情報が共有されました。

地域の実情に合わせて取り組みはさまざまですが、今回の会議で共有した他の市町村の実態や工夫が、民生委員一人ひとりの活動のヒントとなり、ひいては担い手確保につながることを期待します。

地区民児協支援部会長　藤崎　昇